

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和3(2021)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害者社会参加・就労支援課
-----------------	------------------	------------	---------------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

川崎市の身体障害者福祉事業における実施体制の中核として、団体の育成、障害者理解促進のための普及・啓発、地域生活支援及び社会参加推進等を行うことを通じて、市内の身体障害者福祉の充実・発展と、「完全参加と平等」の理念に基づく身体障害者の地域社会での自立と社会参加の支援に寄与しています。

また、市内の身体障害者の自立更生と福祉向上のため、身体障害者に対する援護と福祉に関する事業を行う法人としての役割を担うとともに、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの拡充など自主財源の確保に努め、引き続き経営改善を進めます。

さらに、市内に在住、在勤、在学の障害者に対して、部局の枠組みにとらわれることなく、その成長を促す取り組みを通じて市民とともに、存在意義を高めていきたいと考えます。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		<ul style="list-style-type: none"> ・生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり ・活力と魅力あふれる力強い都市づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの充実 ・スポーツ・文化芸術を振興する
	分野別計画	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次かわさきノーマライゼーションプラン ・川崎市スポーツ推進計画 	

4カ年計画の目標

- ・障害者の社会参加事業の充実
- ・パラリンピック開催を契機とした障害者スポーツの更なる普及促進
- ・障害者スポーツ協会の効率的な運営
- ・サービス利用希望者が利用しやすい効率的な体制の確立及び福祉キャブにおける顧客満足度の向上
- ・普及啓発に向けて広範囲かつ効果的な活動のPR
- ・利用状況調査を踏まえた既存事業の見直しの検討

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	障害者社会参加推進事業	生活訓練等事業への参加者数	人	3,867	3,945	2,030	d	E	II
		スポーツ大会等への参加者数	人	2,770	3,367	1,257	d		
		事業別の行政サービスコスト	千円	42,338	43,122	43,572	2)	(4)	
②	生活支援事業	生活支援事業の利用者数	人	5,867	6,351	3,780	d	C	II
		福祉キャブの顧客満足度	%	68	72	94	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	116,473	140,701	135,153	1)	(2)	
③	普及啓発・相互支援事業	福祉講演会の参加者数	人	100	146	-	d	D	II
		普及・啓発用広報紙の発行部数	部	2,567	3,121	2,875	b		
		事業別の行政サービスコスト	千円	2,250	2,292	1,856	1)	(3)	

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の方 向性
①	効率性を高める業務・改善	研修への参加回数	回	15	18	11	c	D	II

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29(2017) 年度)	目標値 (令和3(2021) 年度)	実績値 (令和3(2021) 年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の方 向性
①	適正な業務運営	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

令和3年度は、コロナ禍の影響で規模の大きいイベントや障害者スポーツ体験事業など中止せざるを得なかった事業もありましたが、令和2年度の市の総括を踏まえ、感染症対策を行うことで、生活訓練等事業や障害者スポーツデー開催事業、福祉キャブ運行事業、相談支援事業等の事業に取り組み、本会の使命である身体障害者の地域での自立と社会参加の支援を推進してまいりました。

また、自主財源の確保に努めるなど、経営改善を進める必要があり、令和3年度は、感染症対策及びサービスの向上に努めることで収益事業である作業室の利用向上に取り組むとともに、事務の効率化を行うことで経営改善に取り組んでまいりました。

【令和3(2021)年度取組評価における総括コメント】

引き続きコロナ禍による活動制限を余儀なくされる中ではありましたが、基本的な感染対策を行いつつ、その時々感染状況に注意しながら、事業を推進してきました。

具体的には、障害者社会参加推進事業においては、オンライン開催や参加人数を制限するなど、可能な対策を講じながら、業務に取り組み、生活支援事業については、利用者及び職員の体調管理をしっかりと把握しながら、事業所の運営継続に尽力したものと理解しています。

その結果として、令和2年度と比べると、若干ではありますが、目標に対する実績値の改善が見られている項目がでてきているところです。

今後についても、身体障害者福祉事業の中核として団体の育成、障害理解の啓発、地域生活支援及び社会参加推進を行うことを通じて、地域における障害者の社会参加の促進に寄与することを進めるとともに、自主財源の確保に努め、安定的な経営が維持されることを期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害者社会参加・就労支援課
----------	------------------	-----	---------------------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和3(2021)年度)

事業名	障害者社会参加推進事業
計 画 (Plan)	
指標	生活訓練等事業への参加者数、スポーツ大会等への参加者数
現状	生活訓練等事業については、障害者の高齢化等により、生活訓練等事業の参加者数が減少傾向にありますが、スポーツ大会等への参加者数については、増加傾向にあります。
行動計画	障害者が広く社会参加が出来る事業計画を立て、事業内容の充実を図ります。また、全国大会の障害区分の変更も見込まれることから、全国の動向や本市の実情も勘案しながら障害者別参加競技の拡充を図ります。
具体的な取組内容	生活訓練等事業やスポーツ大会等においては、日常生活に必要な訓練・指導を障害特性やニーズに応じて実施すること、効率化により経費の縮減を図り実施回数を増やすこと、広報・周知の効率化(市政だより・広報紙・市ホームページの活用等)による参加者数増などに取り組みます。 また事業実施にあたっては同時に、参加者の事前の体調管理や室内の換気、参加者の手洗い、消毒の徹底など新型コロナウイルス感染症まん延を防止することに取り組みます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、イベントについては開催中止かという2択を迫られました。令和3年度は、国や川崎市のイベント開催に関わる方針を参考に、感染対策を徹底したうえで、工夫してできるものは実施する方針で取り組みました。具体的には、参加者の事前の体調管理、室内の換気、参加者の手洗い、消毒の徹底などの基本的感染対策を講じるとともに、参加定員の抑制やオンライン開催の導入などにより、事業を実施しました。</p> <p>【指標1関連】 ろうあ者社会生活教室・日曜教室(オンライン併用)は6回開催し、参加者数340人(前年度比+2回、+157人)、難聴者コミュニケーション教室は74回開催し、参加者数1,150人(前年度比+22回、+310人)、障害者作品展は延べ参加者数80人(前年度比+17人)からの出展となるなど、コロナ禍においても、一定の実績を確保することができました。</p> <p>【指標2関連】 積極的な参加の呼び掛け(本会としての周知・広報はもとより、市民文化局市民スポーツ室に依頼し市政だよりや市ホームページへの掲載を増やす取組、スポーツのまちかわさきフェイスブック活用等)に取り組み、川崎市障害者スポーツ大会(延べ参加者数201人)や障害者スポーツデー開催事業(延べ参加者数529人)、身体障害者球技大会(延べ参加者数82人)等を実施しました。</p>
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	生活訓練等事業への参加者数	目標値	/	3,886	3,905	3,925	3,945	人
	説明 生活訓練等事業への参加者数 ※個別設定値: 3,821 (過去の平均値)	実績値	3,867	3,894	3,336	1,546	2,030	
2	スポーツ大会等への参加者数	目標値	/	2,909	3,054	3,207	3,367	人
	説明 スポーツ大会等への参加者数	実績値	2,770	3,141	3,383	1,085	1,257	
指標1 に対する達成度		d	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		d	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

障害者の地域での社会参加推進を図ることを目的とする生活訓練事業では、当事者団体の意見を参考に文化的な教室や、より参加しやすい内容としての実施を計画しました。具体的には、視覚障害女性家庭生活訓練において、新たに折り紙教室(開催実績:1回)を設けたほか、カルチャースクールにおいては、ハンガーアート企画(開催実績:中止)を行うなど、工夫を凝らしました。コロナ禍において引き続き厳しい状況であり、目標に達することはできませんでしたが、感染対策の徹底や人数制限、オンライン開催等の実践により、前年度比+484人(+31%)の実績となりました。

また、スポーツでは、かわさきパラムーブメントの一環として、障害のあるなしに関わらずスポーツを楽しめる環境を整えることを目指して、東京オリンピック・パラリンピックを契機とする障害者スポーツへの関心の高まりを背景に、事業実績の増加へと反映させるべく取り組みました。具体的には、障害者スポーツ教室として、小学校支援級児向け元気アップ教室や、障害児・者サッカークリニックの開催回数を大幅に増やす計画(それぞれ前年度比+9回、+4回)を立てるなど、事業の拡充に努めました。一部、やむを得ず中止となりましたが、こうした取組の結果、前年度比+172人(+16%)の実績となりました。

指標1、2ともに、昨年度の実績を上回ることができましたが、当初の目標値と比較すると、残念ながら、60%未満という結果となりました。

	区分	区分選択の理由
<div style="background-color: #55a868; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;"> 本市による評価 </div>	<div style="background-color: #d9ead3; padding: 10px;"> 達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った </div>	<div style="background-color: #d9ead3; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">E</div> <p>本事業においては、年間で実施計画を組み立て、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、柔軟に実施可否を判断するとともに、実施する場合には、それぞれの活動内容に適した手法で対応しました。</p> <p>例えば、ろうあ者社会生活教室・日曜教室の内容が、オンライン開催にマッチすることがわかったため、確実に開催できることから回数を多く計画したほか、スポーツイベントにおいては、屋外競技の実施回数を増やすなど、時勢に応じた工夫を行いました。</p> <p>こうした取組の結果、令和2年度と比べて改善が見られましたが、なお新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント中止や参加人数制限、自粛の影響は大きく、目標を大幅に下回る結果となりました。</p>

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	42,338	42,730	43,122	43,122	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値	42,338	46,503	41,568	38,930	43,572	
行政サービスコストに対する達成度		2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

障害者スポーツ大会等においては、地域での社会福祉資源(ボランティアなど)の活用を図ることにより、効率的かつ効果的な事業実施に努め、事業実施に際し経費の節減に配慮しつつ、事業を実施しました。令和3年度は、イベント開催を多く計画し、時々の状況に応じて柔軟に開催可否を判断できるよう取り組んだことから、準備の回数が増え、行政サービスコストは目標値比101%となりました。

	区分	区分選択の理由
<div style="background-color: #55a868; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;"> 本市による評価 </div>	<div style="background-color: #d9ead3; padding: 10px;"> 費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価) </div>	<div style="background-color: #d9ead3; padding: 10px; font-size: 2em; font-weight: bold;">(4)</div> <p>令和3年度は、引き続きコロナ禍において事業実施することを余儀なくされることを前提とし、こうした中でも、「どのようにすれば実施できるのか」に主眼において、障害者の社会参加の機会を確保すべく取り組みました。</p> <p>具体的には、コロナの影響を受けにくい屋外での開催を増やしたり、オンライン開催に適した運用の工夫を行うなどの対応を実践してきました。</p> <p>こうした取組の結果、このような厳しい社会環境の中においても、一定のノウハウを得て、前年度から一定の改善が見られました。</p> <p>しかしながら、指標に対する達成度と行政サービスコストの達成度を踏まえると、不十分とせざるを得ないものと考えています。</p>

改善 (Action)

	方向性区分	方向性の具体的内容
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	II I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<p>新型コロナウイルス感染症や社会環境の動向に注視しつつ、今後も、障害者の地域での社会参加推進を図るため、障害者のニーズに応じた事業内容の検討を進めます。</p> <p>具体的には、各会の開催に当たり、前年度の参加者の意見を踏まえ、関係団体と協議を行ったうえで、内容の検討・調整を行い、新たな活動を取り入れるなど、参加者の皆様にとって満足度が高く、諸能力の向上につながる効果的な内容となるよう工夫してまいります。</p> <p>また、感染拡大の状況においても実施できる事業を一定数確保したり、実施時期を分散させるなどの工夫を凝らしながら、事業目標の達成に取り組む、コスト面の状況も踏まえ、効率的、効果的な運営に努めます。</p>

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害者社会参加・就労支援課
----------	------------------	-----	---------------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和3(2021)年度)	
事業名	生活支援事業
計 画 (Plan)	
指標	生活支援事業の利用者数、福祉キャブの顧客満足度
現状	障害者の日常生活・社会生活を支援するため、障害者総合支援法に基づく相談支援事業や移動支援事業を実施しておりますが、利用申込が重複するケースが増加しており、利用できないケースが増えています。
行動計画	サービスの向上や利用しやすい体制を検討し、より多くの利用希望者に利用してもらえるような効率的な体制を目指し、利用者数の増加を図るとともに、顧客満足度を勘案してサービス向上に努めます。
具体的な取組内容	生活支援事業については、相談支援事業者等と連携を図ったり、提供するサービスの質の向上を図ることなどにより、利用(者)数の増加に取り組みます。 福祉キャブについては、利用の競合により申し込みを受けられないことが多いことから利用率の劇的な向上は難しいと認識していますが、キャンセル時の利用調整等を行い、少しでも利用率の向上を図ることにより、顧客満足度の向上に取り組みます。また事業実施にあたり、同時に新型コロナ対策に取り組みます。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>生活支援事業については、福祉キャブの運行や中部身体障害者福祉会館指定管理事業等を実施し、提供するサービスの質の向上や利用(者)増に取り組みました。</p> <p>【指標1関連】 生活支援事業については、障害者通所支援事業所である「作業室こすぎ」及び地域相談支援センター「すまいる」の利用者数を指標としているところです。令和3年度は、「すまいる」の利用者を、本人の適性をアセスメントしたうえで「作業室こすぎ」につなぐよう、取り組んだところです。 また、「作業室こすぎ」においては、基本的な感染対策を徹底したうえで、鋭意通常運営に取り組みました。しかしながら、利用者に陽性者がでたことから、8日間の休業を余儀なくされるなどし、結果としては、前年度比微増にとどまりました。</p> <p>【指標2関連】 福祉キャブ利用者の満足度については、更新時に353人からアンケートの回収ができました。 アンケート結果としては、「満足している」と「適正」の割合が合計94%となっており、利用者は高い満足度をもって利用されていることの把握が改めてできました。 利用者の意見としては、「親切にやっていただき、とても助かっている」、「いつも丁寧に対応していただいてとても助かっている」、「毎月のショートステイや通院で大変便利に利用させていただきとても助かっている」との意見が多く寄せられています。 一方で、不満と答えた方の主な意見としては、「先約があり予約が取れなかった」というものでした。実績としては、延べ申込件数7,106件に対し、不許可件数572件、約8%の方の予約ができなかったこととなります。</p>

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	生活支援事業の利用者数	目標値	5,867	5,984	6,104	6,226	6,351	人
	説明 生活支援事業の利用者数	実績値		5,414	4,611	3,757	3,780	
2	福祉キャブの顧客満足度	目標値	68	69	70	71	72	%
	説明 アンケート等による満足度調査の結果	実績値		69	81	92	94	
指標1 に対する達成度		d	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

生活支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による利用実績の低迷が見られました。具体的には、「作業室こすぎ」においては、令和2年度3,218人のところ、令和3年度は3,259人、「すまいる」については、同様に488人が521人と、それぞれ微増にとどまりました。
福祉キャブ事業については、令和2年度に、難病患者も対象とし、これに合わせて7台体制を8台体制として、利便性の向上を図ったところです。加えて、キャンセル登録を行い、発生時にはキャンセル待ち登録者に連絡するなど、利用者満足度向上と資源の有効活用のための調整を行いました。
新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、提供するサービスの質の向上を一定程度図れたと利用者アンケートにより認識しています。今後も、適宜利用者の声を把握の上、事業の改善につなげていきます。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	116,473	116,473	117,551	140,701	140,701	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値		114,976	154,830	135,437	135,153	
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

新型コロナウイルス感染症の影響や、移動支援養成研修等の事業が廃止により、直接事業費が抑制された一方、令和2年度と比べて、「作業室こすぎ」の自立支援給付費や福祉キャブ利用料収入等直接自己収入が増加したことにより、行政サービスコストは、目標値の範囲内になりました。
直接自己収入の増加については、感染対策を徹底した「作業室こすぎ」の事業所運営による給付費の増加や、従来健康福祉局地域包括ケア推進室で行っていた難病患者に対する福祉キャブ運行事業を統合したことに伴う福祉キャブ利用対象者の範囲の拡大及び増車等の事業の拡充などの成果であるものと考えています。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市身体障害者協会	所管課	健康福祉局障害保健福祉部障害者社会参加・就労支援課
----------	------------------	-----	---------------------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和3(2021)年度)

事業名	普及啓発・相互支援事業
計 画 (Plan)	
指標	福祉講演会の参加者数、普及・啓発用広報紙の発行部数等
現状	市民への普及啓発や障害者への相互支援を効果的に実施し充実させるため、広く市民にも参加を呼びかけ福祉講演会を開催しました。また、機関紙等紙媒体による情報発信だけではなく、インターネットも活用し、効果的な活動のPRIに努めております。
行動計画	講演内容等の充実を図ることにより、参加者数の増加に繋げ、市民やボランティアへの参加を促進します。また、機関紙等紙媒体やインターネットによる情報発信手段をより有効に活用しつつ、新たな媒体を開発することで、より広範囲かつ効果的な活動のPRIに努めます。そのうえで、対象者の状況に応じて容易に情報収集が可能となるような体制づくりをします。
具体的な取組内容	普及啓発及び相互支援の充実のため、特に外部並びに非会員の障害者に向けて周知を強化するとともに、市内の社会福祉資源等に依頼するなど、パンフレットやチラシの配架、ホームページへの掲載等に協力いただける関係機関数の拡充を図ります。 また、福祉講演会については、他事業との共催による相乗効果もたらされたことから、今年度も新型コロナウイルスの影響を踏まえながら同様の取り組みを検討します。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 講演会の実施は、より広範な市民への周知とそれによる参加者増加を目指して、他の事業(手をつなぐフェスティバル)との共催により実施する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、夏前にイベントの中止が実行委員会により決定されたため、表彰式典(表彰者・被表彰者のみ出席)として実施しました。</p> <p>【指標2関連】 障害者に関する正しい知識の啓発・普及に資する事業として、「川崎市障害者社会参加推進センター通信」(約1,900部)や、啓発用パンフレット「市民の皆さんに知ってほしいこと」(約1,000部)を作成し、広報内容に応じて配布先などを検討し、より求められている情報の発信に取り組みました。 具体的には、作成したパンフレットの内容に応じ効果的な箇所への配架依頼を行うなど(今回は市民対象なので、相談支援センターや市内小学校等への配架依頼を行った)の対応を行いました。</p>
----------------	---

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	福祉講演会の参加者数	目標値	100	110	121	133	146	人
	説明 福祉講演会の参加者数	実績値		2,879	2,665	-	-	
2	普及・啓発用広報紙の発行部数	目標値	2,567	2,695	2,830	2,972	3,121	部
	説明 現行7種類の会報、機関紙等の発行部数	実績値		2,762	3,425	2,900	2,875	
指標1 に対する達成度		d	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		b	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

福祉講演会については、障害に関する普及・啓発を効果的に行うため、従来の手法から抜本的な見直しを図り、他の事業(手をつなぐフェスティバル)との共催により、より事業目的を達成できる方向へ変更がなされた。しかし、令和3年度はイベントが中止となり、表彰者、被表彰者のみが出席する式典としたため、参加者数は0人となりました。
普及・啓発用広報紙の発行については、より障害への理解という事業目標を達成するため、内容に応じて発行部数や配架場所等を調整しており、令和3年度の発行部数は例年並みとなりましたが、新たな配架先として、支援センターや市内小学校等と連携しました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	D

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	2,250	2,250	2,271	2,292	2,292	千円
	説明 直接事業費-直接自己収入	実績値		1,450	2,873	1,232	1,856	
行政サービスコストに対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

効率的かつ効果的な事業実施に努め、事業実施に際し経費の節減に配慮しつつ、事業の実施を試みました。
新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、福祉講演会が中止となり、委託費等の戻入が発生したことにより、直接事業費が減少しました。一方、令和2年度と比べて約60万円の増額にはなっていますが、これは指標以外の事業で単年度事業(政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会開催事業)があったためです。こうした状況により、結果として、目標値の100%未満に収まったところです。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度)等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(3)

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

3. 経営健全化に向けた取組①(令和3(2021)年度)

項目名	効率性を高める業務・改善
計画 (Plan)	
指標	研修への参加回数
現状	障害者の自立と社会参加が進む中、多様化・増大する業務に少数で対応しています。
行動計画	人材育成、適材適所、環境整備を図り、効率的な業務の実施に努めます。
具体的な取組内容	より良いサービスの提供を目指して、職員を研修等へ積極的に参加させ、資格取得・スキルアップを図ります。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連】</p> <p>職員の資質向上のために、サービス管理責任者等研修(1回×3名)、スキルアップや資質向上に関する研修(10回、障害者差別、虐待防止、コロナ対策講座、強度行動障害支援力向上など)等への参加に取り組みました。</p>
---------------	---

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度(現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	研修への参加回数	目標値	15	16	17	17	18	回
	説明 研修への参加回数	実績値		22	19	18	11	
指標1に対する達成度		C	<p>a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満</p> <p>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載</p>					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

職員の資質向上のために、研修に延べ11回参加しました。指標としていた養成研修事業を廃止したこと、本会職員向けの研修については外部研修への派遣がコロナ対応等のため減少したこと、同一の研修へ複数人派遣した等の理由により減少となり、目標には到達しませんでした。

本市による評価

達成状況	区分	区分選択の理由
A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	D	養成研修の廃止や、同一研修への複数人参加、予定していた研修が中止になったこと等により、目標の18回には達しませんでした。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

4. 業務・組織に関する取組①(令和3(2021)年度)


項目名	適正な業務運営
計画 (Plan)	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	専門家を活用した監査体制、コンプライアンスに努めています。
行動計画	適正な業務運営を図るために組織体制の整備を図ります。
具体的な取組内容	職員の資質向上に取り組むとともに、コンプライアンス事案が発生した際には、外部専門機関等から専門職を招致するなどし、再発防止に努めます。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 コンプライアンスに関する取り扱い要綱の周知を図る等、コンプライアンスの順守に関する取組を行いました。
---------------	---

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	0	0	0	0	0	件
	説明	コンプライアンスに反する事案の発生件数						
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
コンプライアンスの順守に関する取組を図れたと認識しています。								

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)				
	経常収益	252,122	238,756	228,073	242,071
	経常費用	256,209	259,809	233,220	238,723
	当期経常増減額	△4,087	△21,052	△5,147	3,348
	当期一般正味財産増減額	△4,087	△21,052	△3,920	4,769
貸借対照表	(指定正味財産増減の部)				
	当期指定正味財産増減額				
正味財産期末残高		138,790	117,737	113,818	118,586
貸借対照表	総資産	168,260	157,057	169,923	164,062
	流動資産	108,222	103,930	121,042	115,704
	固定資産	60,038	53,128	48,881	48,358
	総負債	29,470	39,320	56,105	45,476
	流動負債	20,850	29,391	46,264	34,322
	固定負債	8,621	9,929	9,842	11,153
	正味財産	138,790	117,737	113,818	118,586
一般正味財産	138,790	117,737	113,818	118,586	
指定正味財産					
エラーチェック		OK	OK	OK	OK
本市の財政支出等(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金		79,352	84,848	84,607	81,832
委託料		87,193	81,409	72,354	80,136
指定管理料		20,617	20,755	20,755	27,253
貸付金(年度末残高)					
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)					
出捐金(年度末状況)		10,000	10,000	10,000	10,000
(市出捐率)		68.9%	68.9%	68.9%	68.9%
財務に関する指標		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		519.1%	353.6%	261.6%	337.1%
正味財産比率(正味財産/総資産)		82.5%	75.0%	67.0%	72.3%
正味財産利益率(当期正味財産増減額/正味財産)		-2.9%	-17.9%	-3.4%	4.0%
総資産回転率(経常収益/総資産)		149.8%	152.0%	134.2%	147.5%
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/経常収益)		74.2%	78.3%	77.9%	78.2%

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>流動比率300%超、正味財産比率70%超と安全性については問題なく推移していますが、当期毎に赤字とならないよう留意しており、令和元年度と令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの影響による生活支援事業の利用自粛による自立支援給付費収益への影響もありましたが、今期は黒字を達成することができました。</p> <p>また、令和3年度の収益に占める市の財政支出割合については微増となりましたが、新型コロナウイルスの影響下からの改善が実施事業の増加等に反映し委託費等の戻入が減少したことによるものとなっております。</p> <p>本会の約80%を占める公益目的事業は基本的に赤字体質(収支相償以下)ですが、多様化・増大する業務に少数で対応するなど効率的な運営を図りつつ、収益事業の拡大等によりその改善を図ってまいります。</p>	<p>意欲ある職員の育成に取り組み、サービスの質の向上を図るとともに、コスト意識の醸成に努め、安定的にサービスを提供できる体制を整えることで、経営基盤の安定化を進めてまいります。</p> <p>また、指定管理事業の適正な運営や作業室の利用者確保に取り組みることなどにより、引き続き収益性の改善を図り、令和7年度まで経常収支比率99%超の保持を目指してまいります。</p>	<p>令和3年度は、当期経常増減額がプラスに転じ、当期一般正味財産増減額は4,769千円となりました。</p> <p>昨年度以前はマイナスで推移していましたが、コロナ禍においても改善が図られたことは、厳しい環境下においても、「どのようにしたら実施できるのか」というスタンスで検討と実践を重ねてきた成果であるものと考えています。</p> <p>一方で、収益に占める市の財政支出割合は横ばいであることから、自主財源の確保によるさらなる経営の安定化に向けて、生活支援事業などの工夫を図っていただきたいと思います。</p>

(2)役員・職員の状況(令和4年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	1	9	0	1
職員	13	0	0	5	0	1

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性